

やまなしSDGsカフェは、

持続可能なやまなしの未来を目指し、

SDGsに関心を持つ方が集い、

気軽に真面目に対話を楽しみながら

学び合う場を作ります！

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



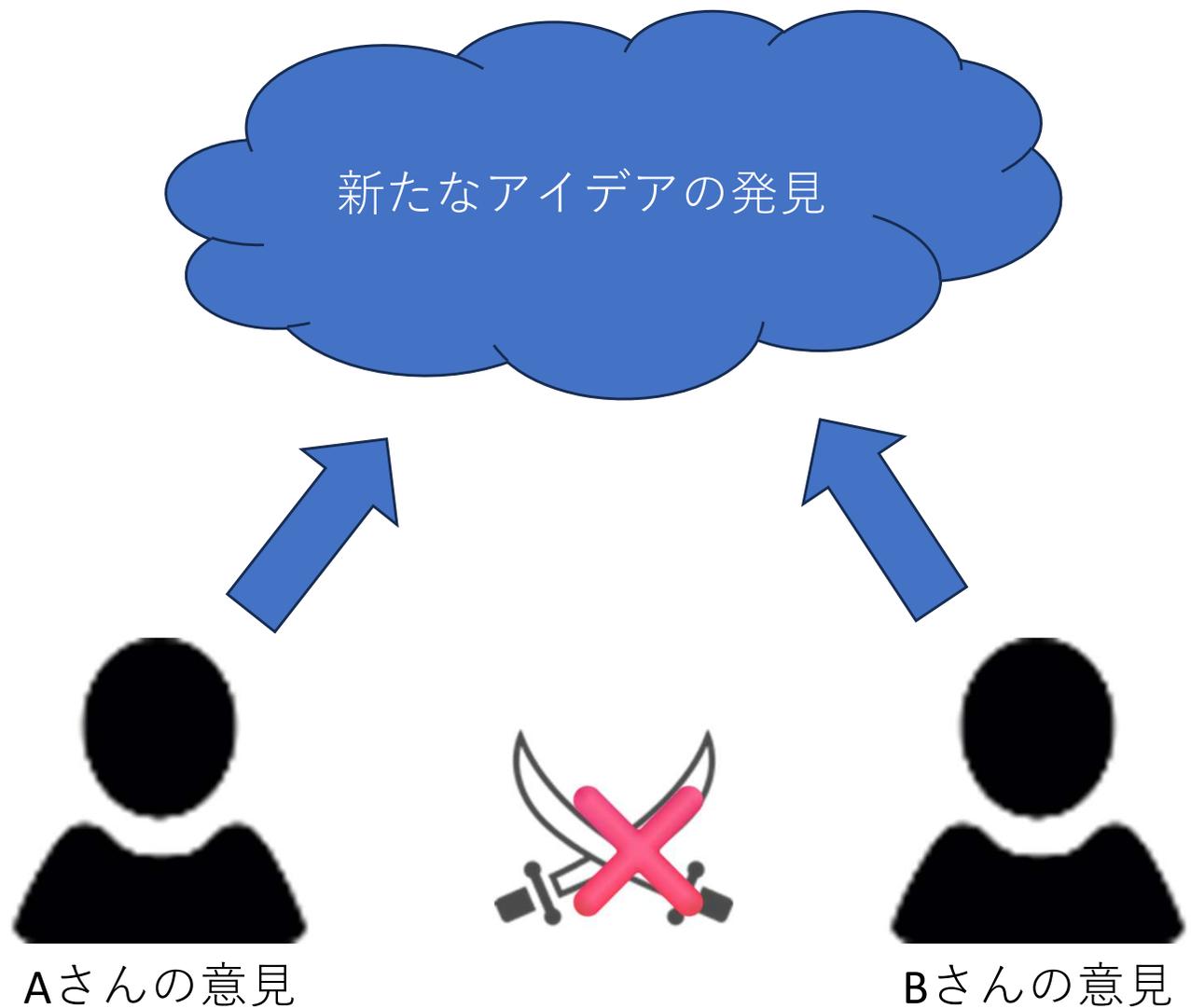
対話（Dialogue）を重視しています（^^）



- チェックイン
- セッションを2つ
 - 「ぺちゃくちゃ」などプレゼン
 - 小グループで対話の時間
 - 全体で共有
- 初参加の方の自己紹介
- PRタイム
- チェックアウト



ダイアログのパワー



やまなしSDGsカフェは、
特定非営利活動法人**大学コンソー
シアムやまなし**の事業である、
「**やまなしSDGs ぷらっとフォー
ム◎**」に参画しています。
実行委員会は、大学コンソーシア
ムやまなし、**中央市、リコー
ジャパン株式会社山梨支社、
株式会社マルモ、株式会社オオキ、
アドバンステクノロジー株式
会社、甲斐LABO、株式会社
アドヴォネクト**で構成され
ています。



第1回やまなしSDGsカフェ：2021年4月21日



国連 SDGs報告書2025を公表 目標達成に「大きく遅れている」



国連 グテーレス事務総長

「本日の報告書はSDGsが依然として達成可能であることを示している。しかし、それは私たちが緊急性、団結、そして揺るぎない決意を持って行動を起こす場合に限る」

「持続可能な世界の実現が極めて厳しい状況」

WORLD

Overall Performance



Average Performance by SDG



「達成もしくはは順調」と判断できる項目は18%で、この数字に「ゆるやかな前進」を加えても35%にとどまっています。

SDG Dashboard and Trends



一方、18%が2015年のベースラインより「後退している」としてしています。

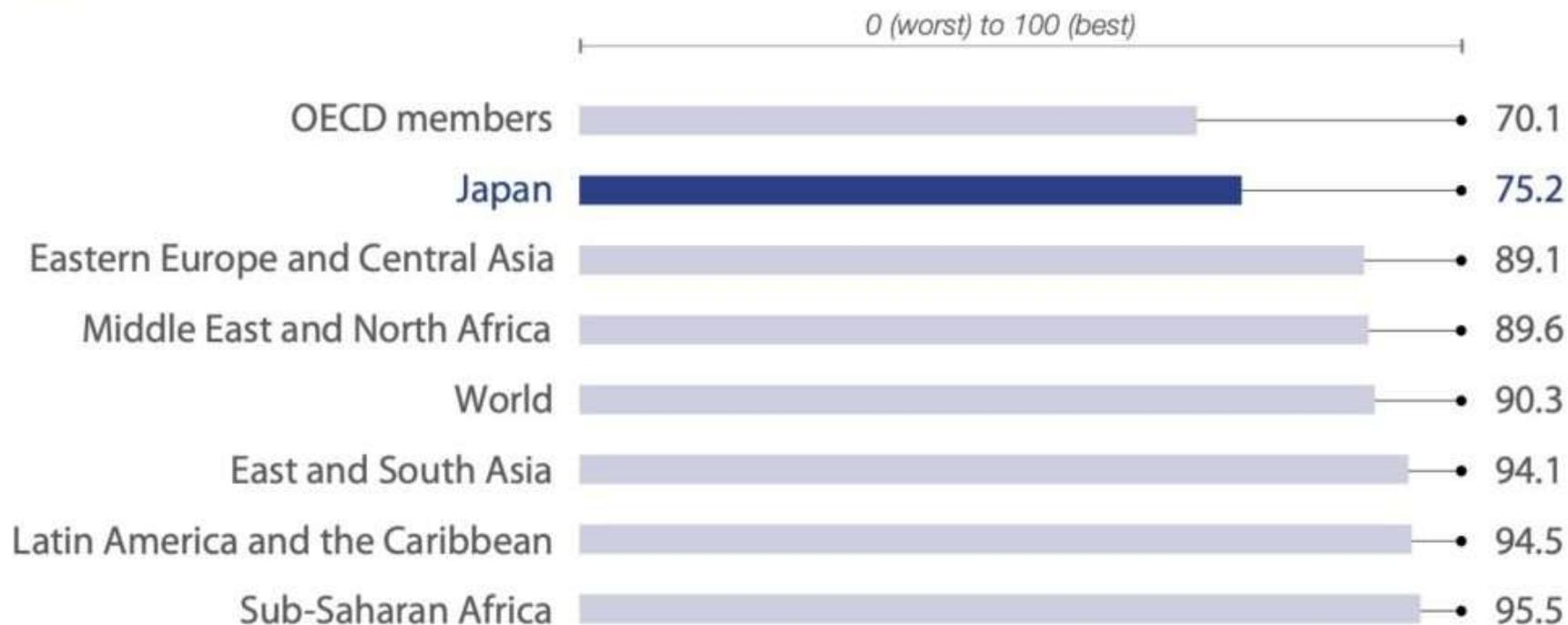
格差大きく、下位国は紛争などで進捗に遅れ

順位	国名	スコア	順位	国名	スコア
1	フィンランド	87.0	19	日本	80.7
2	スウェーデン	85.7	34	韓国	78.1
3	デンマーク	85.3	44	米国	75.2
4	ドイツ	83.7	54	ブラジル	73.8
5	フランス	83.1	99	インド	67.0
6	オーストリア	83.0	163	イエメン共和国	47.7
7	ノルウェー	82.7	164	ソマリア	46.1
8	クロアチア	82.4	165	チャド	46.0
9	ポーランド	82.1	166	中央アフリカ共和国	45.2
10	チェコ共和国	81.9	167	南スーダン	41.6

SDGsの達成度と生活満足度が他を上回る先進国が、CO2の排出、生物多様性への脅威、労働災害といった環境及び社会経済への負の影響を海外に生み出している

先進国が他国に負の影響を生み出している

International Spillover Index



日本と他の地域の「スピルオーバー・スコア」の比較。数値が低いほど貿易や消費によって他国に負の影響を生み出しているとされる（「サステナブル・ディベロップメント・レポート2025」より）

4年ぶり日本政府SDGs報告書 ジェンダー 平等遅れ明記、企業には人権尊重要請



日本政府は6月10日、国連の「持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム」で発表する、SDGs（持続可能な開発目標）の進捗に関する「自発的国家レビュー」報告書を公開した。2021年の前回報告から4年、報告書は若者世代との意見交換などを重ねて作成され、国内におけるSDGsの一層の浸透を評価。一方で、長年の課題であるジェンダー平等の遅れを明確に認め、新たに「ビジネスと人権」を重要課題として手厚く記述するなど、企業のサステナビリティ経営にも直結するトピックが色濃く反映された内容となった。

4年ぶり日本政府SDGs報告書 ジェンダー 平等遅れ明記、企業には人権尊重要請



誰もが「らしく、たのしく、ほこらしく」生きられる社会を目指して開催された「Tokyo Pride 2025」（2025年6月8日、代々木公園）

SDGsの目標5「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う」における進捗の遅れを明記。報告書では、日本の進捗について「課題がある」と表現。「政治・経済分野における女性の参画の拡大が喫緊の課題」であると率直に認めた。

具体化する環境施策と「地方創生SDGs」



2050年のカーボンニュートラル達成という国家目標に向け、CO2排出枠を企業間で取引する「排出量取引制度」の本格稼働などが明記されている。

また、今回の報告書では、SDGs達成に向けた地方の役割も強調された。

専門性や経験人材不足に悩む小規模自治体へのサポートとしては、「地方創生SDGs課題解決モデル都市」選定制度により、成功事例のさらなる普及を進めるとした。

「行動の10年」後半に向けた企業の役割

- 2030年に向けた「行動の10年」も後半に差し掛かる
- 企業に対してもサステナビリティへの取り組みをより一層加速させることを求めている。
- それはもはやCSR活動の一環ではなく、事業戦略の根幹であり、リスク管理そのものだ。
- この国の羅針盤をどう読み解き、自社の航路に生かしていくか。全ての企業にその実行力が問われている。

それでも、私たちにできることがある 今できること TOP10（市民・企業向け）

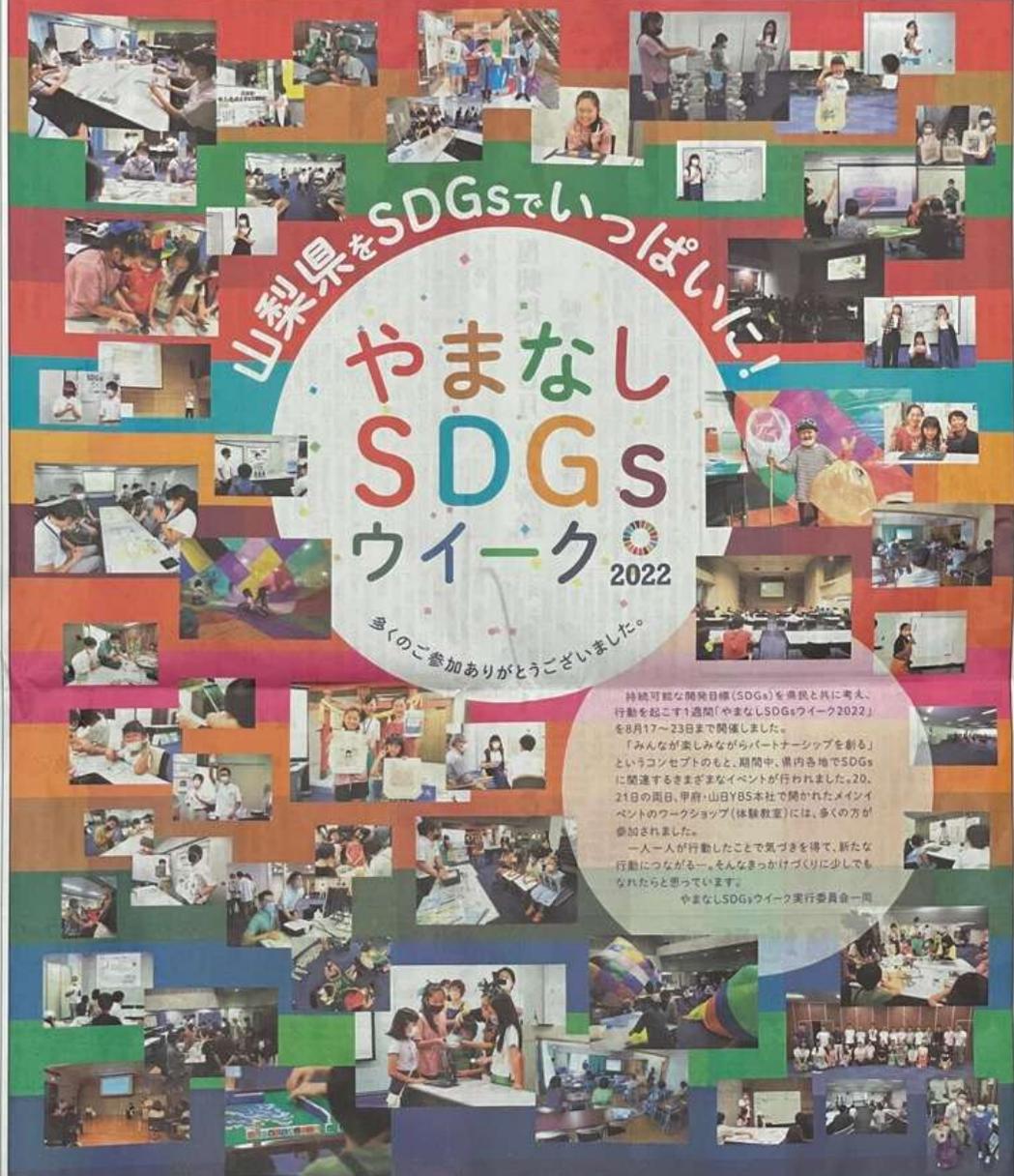
アクション	キーワード
1. 脱炭素の実践	再エネ、省エネ、見える化
2. 地域と連携する	コミュニティ支援、防災
3. フードロス削減	家庭、飲食店、流通
4. リサイクルと分別	資源の循環利用
5. 教育を受け続ける	SDGsの理解と共有
6. エシカルな選択	買い物や投資の見直し
7. 持続可能な農業を支援	地産地消、スマート農業
8. 企業としての情報開示	サステナビリティレポート等
9. 多様性ある職場づくり	ダイバーシティ&インクルージョン
10. 若者や次世代の育成	教育・参加の場づくり

8
2022
令和4年
月
17水～23火

やまなし
SDGs
ウィーク 2022

山梨県をSDGsで
一杯にする1週間！！

500名ほどの登録をいただきました！！



山梨県をSDGsでいっぱい!

やまなし SDGs ウィーク 2022

多くのご参加ありがとうございました。

持続可能な開発目標(SDGs)を県民と共に考え、行動を起こす1週間「やまなしSDGsウィーク2022」を8月17～23日まで開催しました。
「みんなが楽しみながらパートナーシップを創る」というコンセプトのもと、期間中、県内各地でSDGsに関連するさまざまなイベントが行われました。20、21日の両日、甲府・山日YBS本社で開催されたメインイベントのワークショップ(体験教室)には、多くの方が参加されました。
一人一人が行動したことで気づきを得て、新たな行動につながる。そんなきっかけづくり少しでもなれたらと思っています。
やまなしSDGsウィーク実行委員会一同

YAMANASHI SDGs WEEK 2022

主催団体

YAMANASHI SDGs PROJECT
やまなしSDGsプロジェクト

やまなしSDGs
ぶらっとアウォーム◎
やまなしSDGsぶらっとアウォーム◎

SDGs
やまなしSDGsプロジェクト
ハケ祭SDGsコミュニティ

お問い合わせ
やまなしSDGsプロジェクト事務局
(山梨日日新聞社広告局内)
TEL.055-231-3131
(平日9時～17時)



SDGsドレスいかが

ポリ袋で作ったドレスを着飾る子どもたち。「やまなしSDGs(持続可能な開発目標)ウィーク2022」のメインイベントが20、21の両日、甲府・山日YBS本社で開催されていて、参加者がさまざまなワークショップを体験している
＝記事は21面

日新 2022年(令和4年)8月21日 日曜日

体験教室通じSDGs学ぶ

甲府でイベント

持続可能な開発目標(SDGs)を県民と共に考え、行動を起こす1週間「やまなしSDGsウィーク2022」もやまなしSDGsプロジェクト、やまなしSDGsぶらっとアウォームの「ハケ祭SDGsプロジェクト」主催。8月20、21の両日、甲府・山日YBS本社で、メインイベントのワークショップ(体験教室)を開催している。「鈴木美乃理」の初日の20日(火)のワークショップは、海の訪れが「やまなしSDGs」の旗、生地を印刷できるプリンターでのエコバッグ作りや、デジタルメッセージボードで「私だけのSDGs宣言」が作られた。NPO法人ハケ祭SDGsスクールにある「学校で学べない新しいSDGs」を体験しながら、ワークショップでは、参加者がSDGsの目標の中から興味を持ったものをあそびのブロックを使って自由に表現した。

参加した母親は4年の田中(小)は「プリンターや小魚たちが、人間が出た」(小)を食して「のび」を表現しているのを表現した。

SDGs17の目標を大事にしたことをブロックで表現する子どもたち。甲府・山日YBS本社

山梨大学院総合研究部教授の黒田真司さん(左)が「ポリ袋で作る・考える」というワークショップでは、参加者がポリ袋を折り紙に入ったり、ポリ袋ドレスや眼鏡を作った。

21日は午前10時～午後4時、夜空を彩る花火



カードゲーム

moritomirai

モリトミライ

森林の現状や持続的な活用について楽しく学ぶことができる
カードゲーム「moritomirai (モリトミライ)」

本年も

やまなしSDGsウィーク2025

開催されます。



今年も
開催決定

やまなしSDGsウィーク 2025

17 パートナリシップで
目標を達成しよう
やまなしSDGsウィーク
基本コンセプト
やまなしを
SDGsでいっぱい!

県民のみなさんとSDGsを考え、行動を起こす1週間

「探究する山梨。」 ～学びが、仕事が、人生が、つながる一日～

参加者募集中

開催目的

4 質の高い教育を
みんなに



山梨県内の学校では、いま「探究的な学び」が大きく進化しています。生徒が自ら問いを立て、地域や社会とつながりながら課題に挑むその姿は、まさにSDGsそのものです。

でも、「探究」は学生だけのものではありません。

新しい事業や活動を生み出す大人たちの姿にも、「リアルな探究」があふれています。

今年のやまなしSDGsウィークは、

“探究”をテーマに、学生と大人が垣根を越えて出会い、語り合う特別な一日。

現役高校教師によるナビゲートや、最前線で活躍する企業人・市民によるプレゼン、そして生徒たちによる熱い探究発表まで。

「なぜ山梨で探究なのか?」の答えが、きっと見つかります。

8月10日(日) 13:30-16:30(受付13:00-)

会場 山日YBS本社(甲府市北口2-6-10) ※駐車場のご用意はございません。公共交通機関か、有料駐車場をご利用ください。

対象 “探究”や“SDGs”に興味がある方(大人だけでなく、小学生から大学生も歓迎)

第1部

オープニング

「探究ってなんだろう?」

学校で習う“探究”が、
未来をつくる“実践”につながる。

第2部

クロストーク&対話セッション&探究発表

ファシリテーターによる「問いの共有」
企業の社長が語る、社会で実践される「問い」と「アクション」など

第3部

ふりかえりとクロージング

「今日の探究、明日につながる問い」共有

入場
無料

事前
予約制

8月10日
のイベント
申し込みは
こちら



※イベント内容についての詳細は、今後、随時更新していきます。 ※イベントの様子は後日、山梨日日新聞の紙面で紹介させていただきます。

2025 8月 4日～10日

YAMANASHI SDGs WEEK 2025

主催団体



<お問い合わせ>
やまなしSDGsプロジェクト事務局
(山梨日日新聞社メディア企画局内)
TEL055-231-3131
(平日9時～17時)



開催日は、毎月第3木曜日です。

時間は、18時～20時。

開催時間は、変更する月もあります。

次回開催は、8月8日(金)18時～。